

S. T. 英語英文学科・3 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

自身の周りの人達が留学経験をしている人が多かったので自然と高校生の頃から意識していました。そして、海外留学できる資格を満たすことができたので留学を経験しておこうと思い、留学することを決めました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

留学を意識していたので、1 年次生から単語を勉強していました。また事前に夏休みに IELTS キャンプ (現 English Skill-UP Camp) に参加していました。ですが、留学をすることを決めたのは提出期限 1 ヶ月前だったので IELTS の試験を 1 ヶ月内で 3 回受験しました。教材は IELTS の過去問のような内容のものを 3 冊購入し、その過去問をひたすら解いて、やり直しをすることを反復して行い、試験に臨みました。私は出願に間に合わせるために短期間で勉強しましたが、もう少し余裕を持って進めることをおすすめします。

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習法

単語帳を繰り返し見ていました。また、映画やインスタのリール等を見て、英語にできるだけ毎日多くの時間触れるようにしていました。

◆ ビザ申請方法

学校の紹介のエージェントを通して、申請しました。

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

空港に迎えにきてもらうように申請をしていたので、その方に迎えにきてもらいました。滞在先には 30 分程度で到着しました。

◆ 現地でのオリエンテーション期間中にしたこと

オリエンテーションに 1 回参加しました。

◆ その他必要な諸手続き方法

現地の口座の Commonwealth bank を開設しました。友人と割り勘する場合、現地の口座があると便利でした (ないと割り勘の際は困る場面があると思います)。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

語学研修の施設は会議室みたいな場所でした。クーラーが強いので羽織ものを持っていくのが必須です。設備は電子レンジやお湯などがあり、便利でよかったです。

◆ 授業内容、課題、試験

授業内容はプレゼンテーションの仕方、エッセイの書き方が主でした。課題はエッセイのためのアウトライン作りや、テキストを読んで問題を解いてくるという形式が主でした。試験内容は日頃のプレゼン、ディベートの結果に加えて、最終テストに **writing** がありました。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学にはいくつかカフェやレストランがありました。少し離れたところにはジムもありました。

◆ 履修科目について

Trimester2

・ 1003THS **Fundamentals of Hospitality**

おもてなしについての基礎的な内容を学びました。

課題内容

- 1, Instagram に投稿するような感じで自分がした、またはしてもらったおもてなしの写真を貼り付けて、ハッシュタグを記したり、学んだ内容を含めたりして、作成しました。
 - 2, パートナーと協力して podcast を作成しました。
 - 3, 4 人グループで自国以外の hospitality についてプレゼンテーションを作りました。
- 最終試験はありませんでした。

・ 1330QCA **Introduction to Visual Communication Design**

Photoshop, InDesign, illustrator を使用し、毎回の授業で課されるお題に沿ってデザインしました。先住民についての関わり方も含めて制作する必要がありました。最後に全ての課題をまとめる課題が出るのですが、コツコツ進めていくことをお勧めします。最終試験は今まで学んだ全ての技術の知識を活かし、紙媒体で配られた画像の再現が求められました。

・ 5904LHS **Language and Communication for Arts and Social Sciences**

この授業は留学生のための授業なので英語が第二言語の学生だけが受講できます。プレゼンテーションと essay で成績が決まります。プレゼンの内容は先生が決めます。Essay は自分の専攻に関連したもので書きました。最終試験はありませんでした。

Trimester3

・ 2004MKT **Consumer Psychology**

この授業では消費者がどのような原因で購買したくなるのか、その要因の理論やその後の感情によって次の購買へ影響する、などの消費者心理学を学びました。家で 1 時間のレクチャーを視聴し、その応用として workshop で discussion しました。

課題内容

- 1, AI と要約についての分析とリフレクション
- 2, グループワークで、1 つの商品を選び、CSR や SDGs などを含めて消費者の行動の分析、リフレクション、課題解決提案について書きます。約 2000words.
- 3, グループワークで選んだブランドを使って、今まで授業で学んできた理論を 6 個使ってそのブランドに対する消費者心理について作成します。この課題でも課題、解決案、CSR、SDGs を含めて書きます。個人ワーク 2000words.

・ 1017SCG Foundation Mathematics

数学 12AB (Mathematics I, II, A, and B) とその応用について学びます。3 週間に一度のペースでミニテストがあります。

・ 1043SCG Introduction to Environmental Sustainability

持続可能社会について原因、影響、などについて学びました。

課題内容

- 1, 先住民について理解するための Module が 4 つ (1 つ約 2 時間)
- 2, 毎回 lecture 後のミニテスト
- 3, 自分の将来の職業は環境にどう影響し、その課題、解決案などの essay

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブ活動はしていません。大学 (Griffith SRC) が開催する night movie などのプログラムに時々参加していました。Griffith SRC はさまざまなイベントを開催してくれるので、友人作りや 1 人時間に何をしたらいいかわからない人にお勧めです。

⑧ 現地での住まいについて

◆ 語学研修期間

ホームステイをしていました。1 人部屋で、ルームメイトがいる時期といない時期がありました。トイレ・シャワーは共同で食事プランは毎夕と休日の昼夕で契約していましたが、買って欲しいものを言うのが気まづかったことと、自分自身が朝ごはんをあまり食べないタイプでしたので、途中で毎夕のプランに変えました。大学までの移動時間はバスで 50 分でした。バスの料金は 1 回 0.5AUD で、交通費はあまりかかりませんでした。

◆ 正規科目履修期間

語学研修期間と同じです。

⑨長期休暇の過ごし方

長期休暇は海外旅行（ニュージーランド）をしていました。

長期でない休日は、冬は Movie World などのテーマパークへ、夏は Fake beach などでも過ごしました。また、年始の花火や South Bank、ブランチなどに出かけていました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

12 月から説明会をオンラインで聞いたり、自己分析を進めたりしていました。

もし就活をするなら、オンラインでもスーツ着用が必須な場合があるので、スーツを持っていくことをおすすめします。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

一時ホームステイ先が変わった時にできた友人と、さまざまなところに行ったのが楽しかったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

語学学校では、すでに他のクラスメイトは自身の取得得点より高い IELTS6.0 を取得しており、日常会話ができて当たり前だったので、それと比べたときに自身の英語力が低いと感じ、プレッシャーになりました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

（自身の滞在先は）夜の消灯時間が早かったことです。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点：現地の学生が多いところがいいと思いました。

悪かった点：現地の学生が多いので、すでに友人の輪があり、友人同士で講義を受けている方もいるように感じたため、そこに割って入って友達を作ることが難しかったです。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコン、衣服（合うサイズがないため）、サングラス、1 週間分の下着（雨が降っていたら乾かない or 洗えない）、白ごはん、化粧品、スキンケア等

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

初めは自身の取得点数より高い IELTS6.0 を取得している語学学校のクラスメイトたちと比べて Speaking、Listening ができず、語学力の差を感じ、周りとは本当に話すことができなかったのですが、日に日に授業や課題を進めていくうちに日常会話ができるようになりました。

留学前後、留学中には準備、課題、プライベートなこと、就職活動など沢山することがありました。優先順位をつけ、計画的にひとつずつタスクを進めていくことで、自分のペースにもっていけるようになりました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学先で英語力が劇的に伸びるとは限らず、理想として思い描く「海外の友人と充実した時間を過ごすキラキラした留学ライフ」を実現するためには、事前にある程度英語を話せるようになっておくことがとても大切だと感じました。英語で自分の考えを伝えられるレベルに達してから留学することで、現地での人間関係も広がりやすいと感じたので、留学前に Speaking と Listening の強化をすることをお勧めします。

また、Griffith University は現地学生が多く、一方で色々な国の学生もいました。ですので、Domestic student と友人になりたい方、色々な国の人と交流したい方に、Griffith University がお勧めだと感じました。また自身は英文学科が専攻なのですが、アートなど他の分野の勉強もできて楽しかったです。ですので専門だけでなく、様々な分野の勉強をしてみたい方にもお勧めです。

最後に、色々な大変なことや辛いことがあるけれど、それと同じぐらい素敵な経験や素晴らしい思い出ができます。ぜひ留学を楽しんでください。

IV. 将来の目標

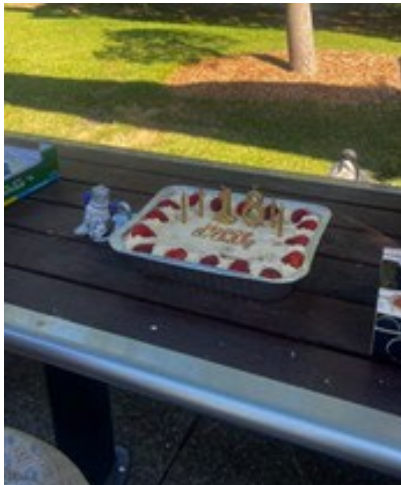
今後の進路、将来の目標・夢

今後の進路希望： デベロッパー、インフラ、不動産

V. 写真



よくランチを楽しみました。その中でも、日本と比べてフルーツ山盛りで量も多くて大満足のお勧めのサイーです。



仲良くなった友人の誕生日を祝った時の写真です。ケーキでお祝いしたり、BBQ もしたりと、とても良い思い出です。